

地域づくりインターン事業

7月20日から8月19日にかけて、地域づくりインターン事業が行われ、首都圏を中心に5名の大学生がインターン生として、本町で農業体験や地域での聞き取り取材などを行いました。

そのインターン生の声を2号にわたって紹介します。

このインターン事業に対して、受け入れ家庭をはじめ町民の方々に多大なるご協力をいただき、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

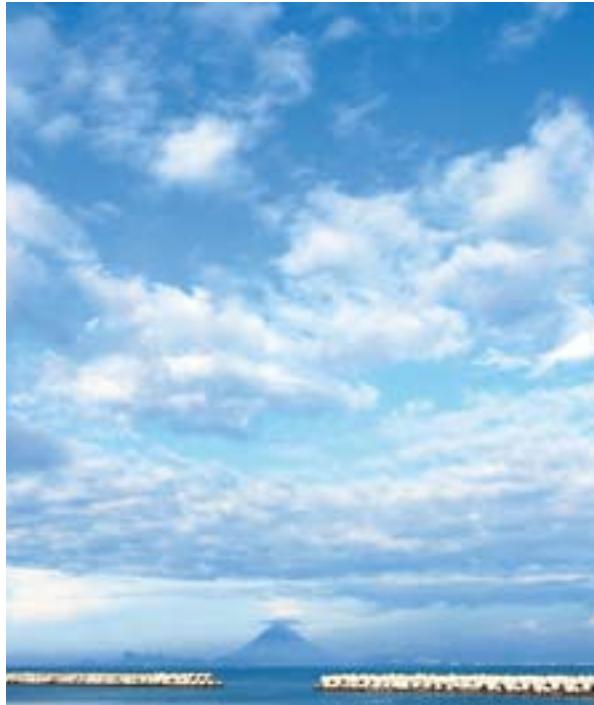
吉原 彩乃

◎派遣期間

7月20日～8月3日



私が錦江町インターンの最中に覚えた、「茶碗蒸しの歌」「んだもこら、いけなもんな♪」と歌い出すこの陽気な歌は、鹿児島県の「故郷（くに）の歌」だそうです。錦江町の皆さんにはなじみ深い曲なのではないでしょうか。実は、東京にほど近い千葉県市川市という場所に生まれ育った私は、自分の「故郷の歌」を持っていません。だから錦江町をとてもうらやましく思います。「そこに住む人々なら、誰もがみな知っている」という感覚は、なんてあったかいのでしょうか。どんな「げんねえ」ことをして、最後には「わっはっは」と笑い飛ばすことができる大らかな薩摩文化が大好きです！



錦江町の空（お気に入りの一枚）

田代 泰史

◎派遣期間

7月21日～8月3日



2週間という短い期間ではありましたが、豊かな自然の中での田舎生活は、普段の学生生活とは違い非常にのんびりすることができました。そして、田舎で暮らすことについて、多くのことを感じ、考えることができました。今回の経験は今後の人生に絶対にプラスになると思っています。

錦江町のみなさん、受け入れ先の家族の方々には温かく迎えていただき感謝しています。錦江町で出会った人はとてもいい人ばかりで楽しい日々を過ごすことができました。ありがとうございました。



受け入れ家庭の皆さんとバーベキュー



しぜんまるごと体験ツアーの顔出し看板でパチリ
左：田代くん 右：吉原さん